



平成28年度農林水産関係補正予算について

平成28年度農林水産関係補正予算（第2号）について、8月24日に概算決定されましたので、その概要を紹介いたします。

平成28年度補正予算の政府全体の歳出規模は4.1兆円で、昨年の3.5兆円に比べ17.5%の伸びとなっています。

このうち、農林水産関係補正予算は、昨年の4,008億円から28年度は5,739億円となり、1.4倍と非常に大きな伸びとなっています。畜産関係では、畜産クラスター計画を策定した地域の収益性向上に必要な機械のリース導入、施設整備等を支援する「畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業）」について、昨年の610億円から28年度は685億円となり、75億円の増額となっています。

また、輸出関係予算では、農林水産物・食品の輸出額1兆円目標の前倒し達成（平成31年）に向けて、輸出力の強化を図るため、昨年の171億円から、28年度は270億円となり、101億円（1.6倍）と大幅な増額となっています。

事業に係る詳細等につきましては、下記の農林水産省リンク先の各事業に記載されている問い合わせ先へご連絡いただきますようお願いいたします。

農林水産関係補正予算の概要については、下記のリンク先で御覧いただけます。

URL: <http://www.maff.go.jp/j/budget/index.html>



平成29年度予算要望について

平成28年8月26日、自民党農林水産戦略調査会・農林部会・農政推進協議会合同会議が開催され、本協会より平成29年度予算の概算要求に当たり要望書を提出しました。

(要望書)

平成28年8月26日

自由民主党農林水産戦略調査会・
農林部会・
農政推進協議会合同会議座長 殿

平成29年度予算についての要請

一般社団法人 日本養鶏協会
会長 齋藤 利明

我が国養鶏産業の振興につきましては、日頃より格別のご支援、ご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

また、この度の TPP 政策大綱及びそれに基づく施策の策定にご尽力頂き、深く感謝いたします。

さて、我が国鶏卵産業は短期的には比較的安定した卵価にあって、一息ついたところではありますが、生産資材の高止まりや環境問題への配慮等コスト高への対応に苦慮している現状にあります。

つきましては、平成29年度予算の概算要求に当たりましては、以下の点について特段のご配慮をお願いします。

1. 鶏卵生産者経営安定対策事業については、成鶏更新・空舎延長事業に力点をおいた事業となるよう見直しをすること
また、その際、小規模層に配慮したものとすること
2. 畜産クラスター事業について、鶏卵産業においても規模の大小各事情に応じた利用しやすいものとすること



平成28年度鶏卵規格取引研修会開催について

中央鶏卵規格取引協議会

事務局

1 目的

鶏卵規格取引要綱（平成12年12月1日付け農林水産事務次官通知）第5の5（鶏卵規格取引の格付け責任者及びその指導を行う者）に基づく資格取得研修会を開催し、規格取引の円滑な推進に資することを目的としています。

2 受講者資格と受講者定員

1) 受講資格者

鶏卵生産者、生産者団体職員、鶏卵出荷者、荷受業者、加工業者、都道府県担当職員、その他鶏卵の取り扱いに関係ある者。

2) 受講定員

(1) 東京会場 95名 (2) 京都会場 70名

3 受講申込み

1) 申込み方法

受講希望者は、[申込書](#)〈下線部をクリックすると研修会申込書が開きます〉に受講希望地（東京会場、京都会場）、受講者氏名等を記入し、お申込み下さい（FAXでも可能です。FAX番号は次ページ「問合わせ先」です。）

なお、受講費納入用の振込取扱票はそれぞれの会場の申込み締切後に送付致しますので、早急な振込みをお願い致します。

2) 申込み期限

各会場の申込み期限は下記です。

(1) 東京会場 平成28年10月21日

(2) 京都会場 平成28年11月11日



3) 送付先

〒104-0033 東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館
(一社) 日本養鶏協会内
中央鶏卵規格取引協議会事務局 あて

なお、受講者が定員に達し次第、受講申込み期限前であっても締切りますので早めにお申込み下さい。

4 開催日程と会場

1) 東京会場

平成28年11月11日(金) 10:00~15:30(予定)

馬事畜産会館2F会議室

(一社) 日本養鶏協会 (TEL 03-3297-5515)

東京都中央区新川2-6-16

2) 京都会場

平成28年12月2日(金) 10:00~15:30(予定)

京都リサーチパーク東地区1号館4F AV会議室

会館事務局 (TEL 075-322-7888)

京都市下京区中堂寺南町134

※ 問合せ先 (一社) 日本養鶏協会

電話 03-3297-5515 担当 小松田・田渕

FAX 03-3297-5519

5 研修会内容

1) 研修内容(仮題)

(1) 鶏卵規格取引について



- (2) 最近の鶏卵を巡る情勢について
- (3) 安全な鶏卵の生産と供給について
- (4) 鶏卵の表示に関する公正競争規約について
- (5) 市販鶏卵の格付け表示状況及び卵質検査等結果について

6 研修会受講費

研修会受講費は、1人当たり20,000円（テキスト、昼食費、修了証書等を含む。）を3の3）の送付先まで振込取扱票にて納入をお願い致します。受講費納入が確認された後、葉書で受講票を送付しますので、当日持参して下さい。

なお、納入された受講費の返却については、京都会場、東京会場の研修会開催日の1週間前までに受講できない旨のお申し出があれば返却致します。それ以降については理由を問わず返却致しませんのでご了承下さい。

7 修了証書

研修を完全に受講した方には、受講修了証書を当日研修会終了後、会場にて授与致します。

8 その他

- 1) 受講者の宿泊については、斡旋できませんので、各自お手配くださるようお願い致します。
- 2) 受講申込等について（一社）日本養鶏協会のホームページに掲載していますのでご利用下さい。

なお、本情報については[日本養鶏協会](#)ホームページ・トップページの

中央鶏卵規格取引協議会
(鶏卵規格取引研修会開催)

バナーからもご覧になれます。





米国農務省が11,700千ドル（11億7千万円）の 鶏卵・鶏卵加工品の買上を発表

米国農務省（USDA）は8月24日に市場から余剰品を隔離するために、鶏卵と鶏卵製品の買上計画を発表した。

米国鶏卵生産者協会（UEP）のCEOであるチャッド・グレゴリー氏は、「鶏卵生産者と鶏卵加工品業者は歴史的な低価格に瀕しており、米国農務省が鶏卵、鶏卵加工品買上を行う事に、UEPとしては感謝している。」と述べている。

グレゴリー氏はこの11,700千ドル（11億7千万円）分の米国農務省による買付は、高品質のタンパク質を必要としている人々を支援することになるとしている。

「米国農務省が殻付卵と鶏卵加工品の両方を買付することに、我々は満足している。このようなバランスのとれたやり方は困難な時期を迎えている養鶏生産者にとっては恵みをもたらすものだ。」とグレゴリー氏は述べている。近日中に米国農務省農業マーケティング局（AMS）から公募要領が発表されることとなっている。

全ての販売申込はウェブ上の「サプライチェーン マネジメント ウェブサイト（WBSCM）」に提出されなければならない、WBSCM以外の経路によってなされた販売申込は無効とされる。

<http://www.usda.gov/wps/portal/usda/usdahome?navid=WBSCM>.



販売申込者は以下の規則に沿って、このプログラムに関連した書類を精査することとする。

AMS 商品購入規則 (2015年4月発効)

AMS 商品購入規則 改正1 (2015年6月発効)

AMS 商品購入規則 改正2 (2016年5月発効)

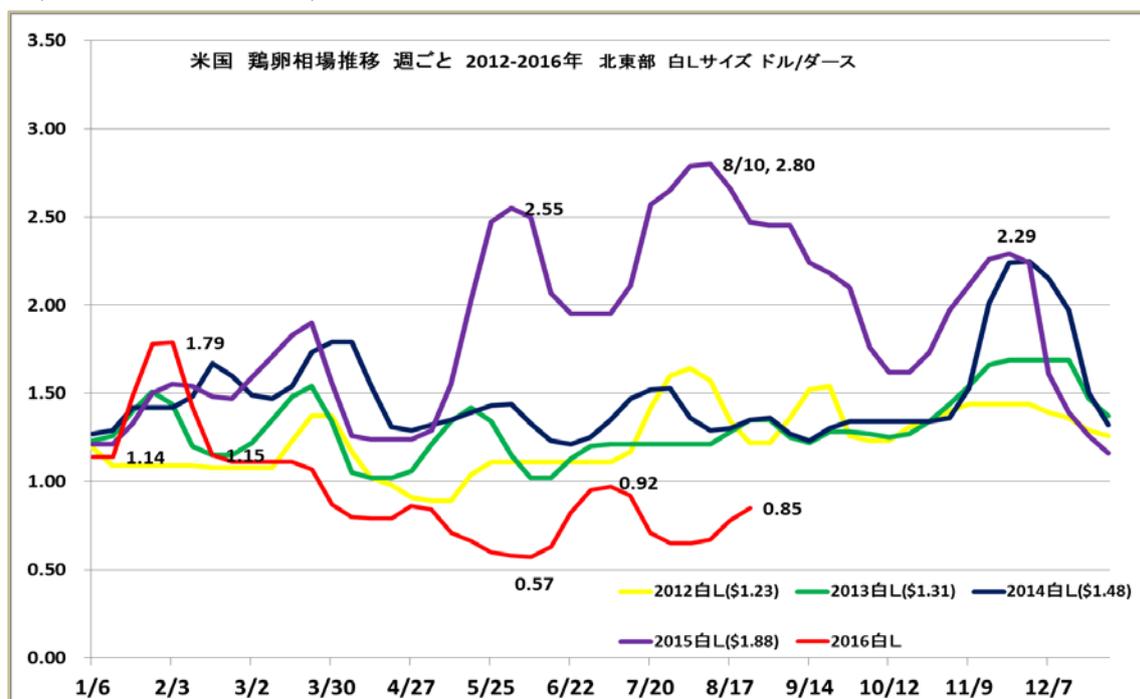
USDA への商品販売者の必要要件、申請商品規格規則 (2014年10月発効)

これらの規則は AMS 商品購入ウェブサイトにて入手可能

<http://www.ams.usda.gov/selling-food>

販売申込者は正式な要領が公表された場合、十分にその条件を理解しなくてはならない。この公募に対する申込の e-Mail による確認については、「AMS 食料購買ウェブサイトにある USDA 食料買付リンクを、更新すること」

(FOOD COM 8/25/2016)



協会活動報告

(下線色付き部分はホームページに連結)

1. 各種事業についての報告

(1) 鶏卵生産者経営安定対策事業

① 価格差補填事業の事業参加者との契約数量 (トン/月当たり)

平成25年度	164,822
平成26年度	160,792
平成27年度	161,936
平成28年度	164,846

② 7月の標準取引価格 182.23 円/Kg

(補填単価) 6.093 円/Kg

平成28年度補填基準価格 189 円/Kg

平成28年度安定基準価格 169 円/Kg

(2) 国産鶏卵普及拡大対策事業

本事業の一環として、マイナビニュースで卵に関する情報を発信しています。

今回は「卵のコレステロール」がテーマです。

こちらのサイトにアクセスして、まずは**たまけん**を受けてみませんか？

<上記**たまけん**をクリックするとマイナビのニュースにアクセスします>

2. 今後の予定

- 9月1日 第4回正副会長会議
- 9月1日 第4回鶏卵生産者経営安定対策事業委員会
- 9月1日～6日 台北「日本のたまご」フェア

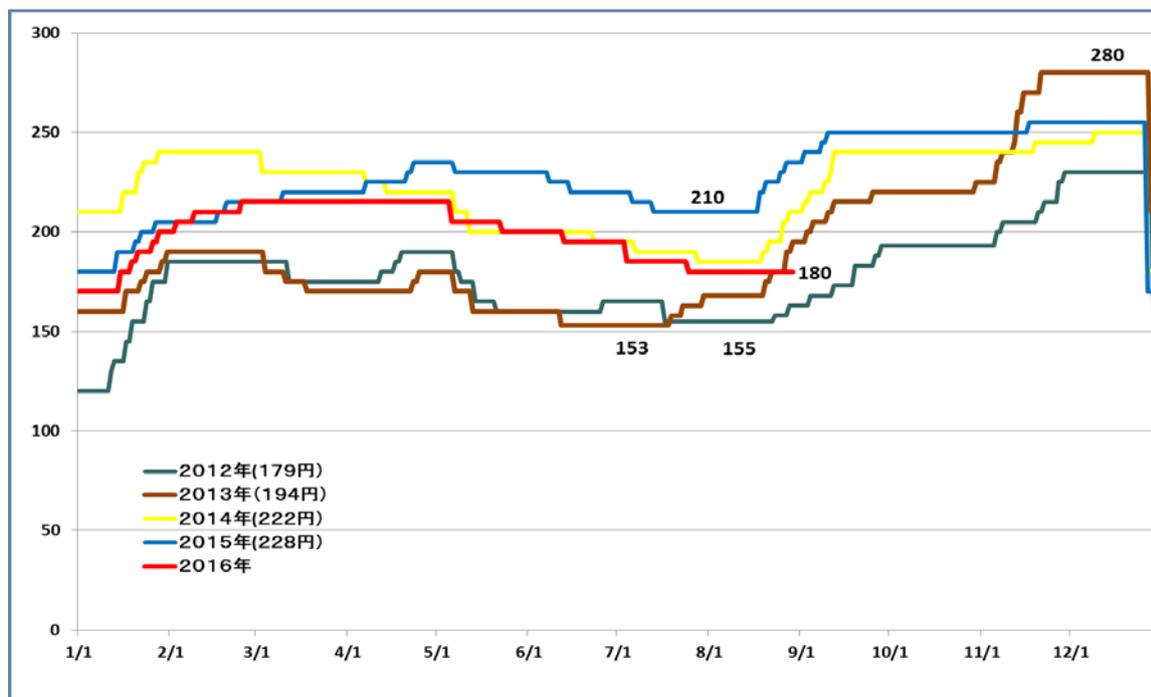
統計データ

【相場動向】過去10年間の7月相場<Mサイズ>

	平均値	高値	安値
平成19年	145	145	145
平成20年	193	195	185
平成21年	154	160	150
平成22年	177	190	160
平成23年	170	185	165
平成24年	160	165	155
平成25年	157	168	153
平成26年	190	195	185
平成27年	213	220	210
平成28年	184	213	174
平均値	174	184	168

平成28年7月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）は184円と先月より13円安い相場となりました。これは高騰した昨年の7月より29円安となり、一昨年の7月と比べるとやや下回る価格となりましたが、過去10年間では10円高い相場となっています。

【鶏卵相場推移 2012年～2016年 会計年度 東京全農Mサイズ 円/Kg】





平成28年の鶏卵相場は、前年より全体の価格水準は下げておりますが、一昨年をやや下回る水準での展開となっております

【鶏卵関係主要計数】平成28年6月までの1年間の主要計数推移

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
	数量(千羽)	前年比	成鶏用		一人当たり		東京全農M	
			数量(千ト)	前年比	数量(グラム)	前年比	本年	前年
27年7月	8,831	99.6%	461	102.3%	818	101.1%	213	190
8月	7,502	103.0%	427	100.2%	805	100.5%	219	192
9月	8,444	95.6%	455	101.0%	802	97.2%	247	231
10月	8,862	104.3%	476	97.6%	851	103.9%	250	240
11月	8,518	104.7%	461	101.6%	842	99.8%	252	242
12月	9,070	103.0%	518	97.1%	850	96.7%	255	248
28年1月	8,317	97.8%	448	96.9%	833	108.9%	182	192
2月	8,604	104.0%	470	104.6%	845	103.2%	209	209
3月	9,238	99.7%	494	102.9%	865	101.6%	215	219
4月	8,779	104.4%	486	101.4%	890	106.1%	215	227
5月	9,398	104.6%	494	102.9%	889	103.8%	197	223
6月	9,228	101.6%	486	101.4%	867	108.0%	184	213
1年間小計	104,791	101.6%	5,675	100.1%	10,157	101.0%	220	219

- ・雛餌付羽数は、前月に引き続き前年同月対比で伸びており、6月までの1年間でも1.6%増となっております。
- ・配合飼料出荷量は、2月以降、増加傾向で推移していますが、1年間ではほぼ前年並みとなっております。
- ・鶏卵家計消費量は、本年に入り増加傾向で推移しており、6月は108%と高い伸びとなっております。年間では前年同期消費量よりやや増加しています。
- ・これらの統計からすると、供給サイドでの大きな落ち込みも無く、需要も底堅い展開となっております。

【日鶏協ニュース】 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内（5階）

TEL：(03)3297-5515 FAX：(03)3297-5519 発行日 2016年8月31日

編集・発行責任者：小田上浩史(info@jpa.or.jp)

